

新名神高速道路 鵜殿ヨシ原の環境保全に関する検討会 設立趣旨

新名神高速道路は、日本の国土軸を形成し、今後ますます期待される国際競争力の強化、さらなる社会経済活動の活発化への基盤となる路線である。

一方、新名神高速道路が交差する鵜殿ヨシ原は、多様な生物の生育生息環境であるとともに、雅楽で使用される良質なヨシの生育地であり、自然環境、歴史・文化的にも極めて重要な場所である。

このような認識の上、弊社では、「鵜殿ヨシ原の環境保全に関する基本的な考え方」として、

- ・ ヨシ原に極力影響を及ぼさないよう万全な対策を講じる
- ・ 対策検討にあたっては、専門家や関係者のご意見を十分伺う
- ・ ヨシ原焼きが従来通り継続的に実施できるよう関係機関と調整し、対策を検討する
- ・ 良質なヨシ生育環境の保全と事業の両立に向け全力で取り組む

以上を策定したところである。

この基本的な考え方を踏まえ、新名神高速道路の整備にあたって、良質なヨシ生育環境の保全との両立に向け、専門家から必要な調査、対策について指導、助言を行うため「新名神高速道路 鵜殿ヨシ原の環境保全に関する検討会」を設置するものである。

平成25年1月10日
西日本高速道路株式会社関西支社